

# 九条塔南だより

令和5年10月4日

京都市立九条塔南小学校  
校長 奥野 利一



学校  
教育目標

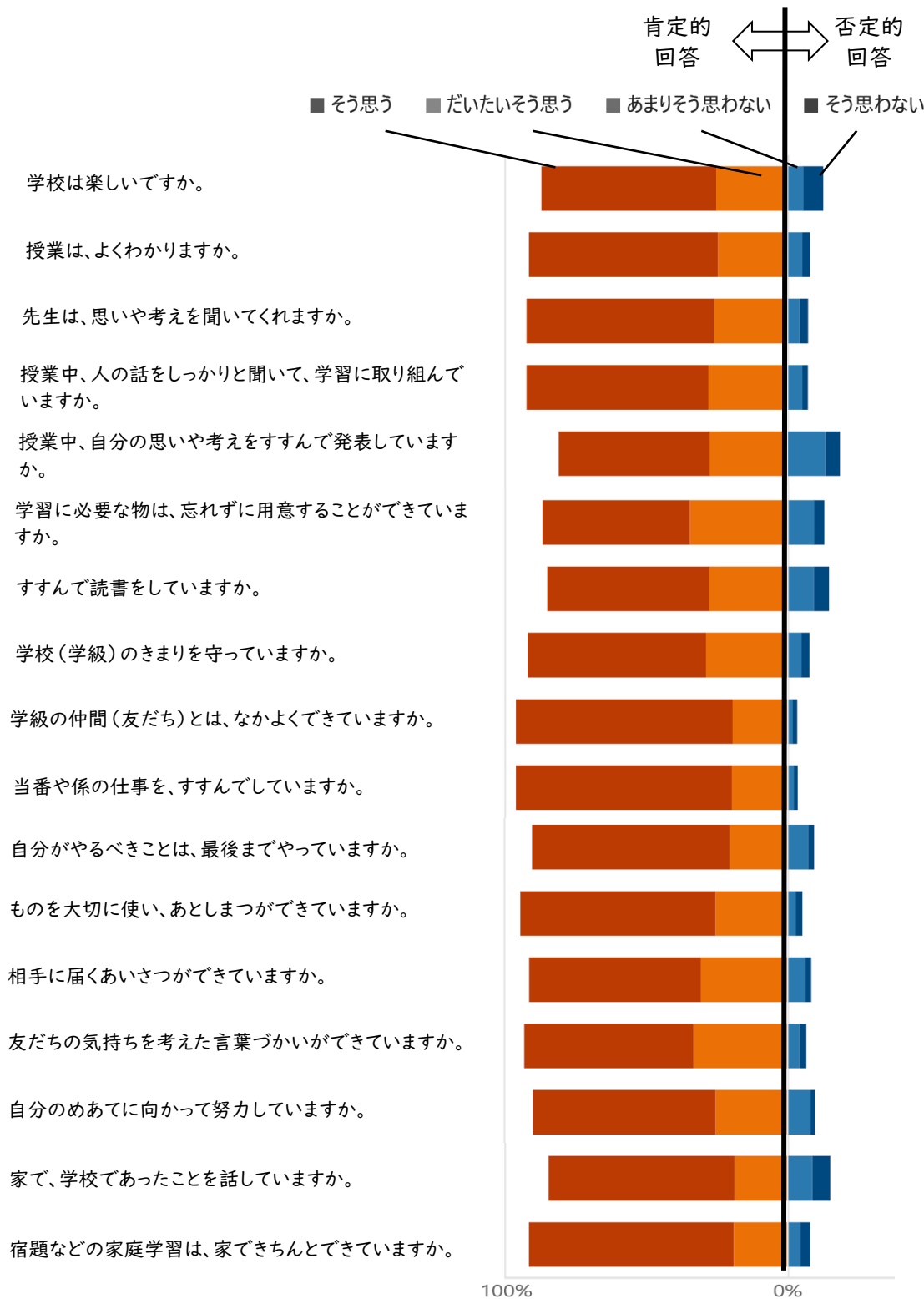
心豊かにたくましく 夢や希望に向かう子どもの育成  
～つながろう つなげよう 九条塔南の子～



## 前期学校評価アンケートの集計結果をお知らせします。

7月に実施しました、「学校評価アンケート」にご協力をいただきありがとうございました。集計の結果をお知らせします。学校評価は、学校家庭が相互に高め合い、よりよい学校づくりを目的として行っています。今年度は、学校教育目標の達成を目指し、「つながるための『柔軟性』『社会性』『つながりを広げる』『課題発見力』『実行力』『つながりを広げるための『主体性』『調整力』」の6つの力の育成をめざし、教育活動に取り組んでいます。児童・保護者へのアンケート結果をまとめましたのでご報告いたします。

### 学校評価集計結果【児童へのアンケート】 令和5年7月 オンライン回答(Microsoft Forms)形式にて実施

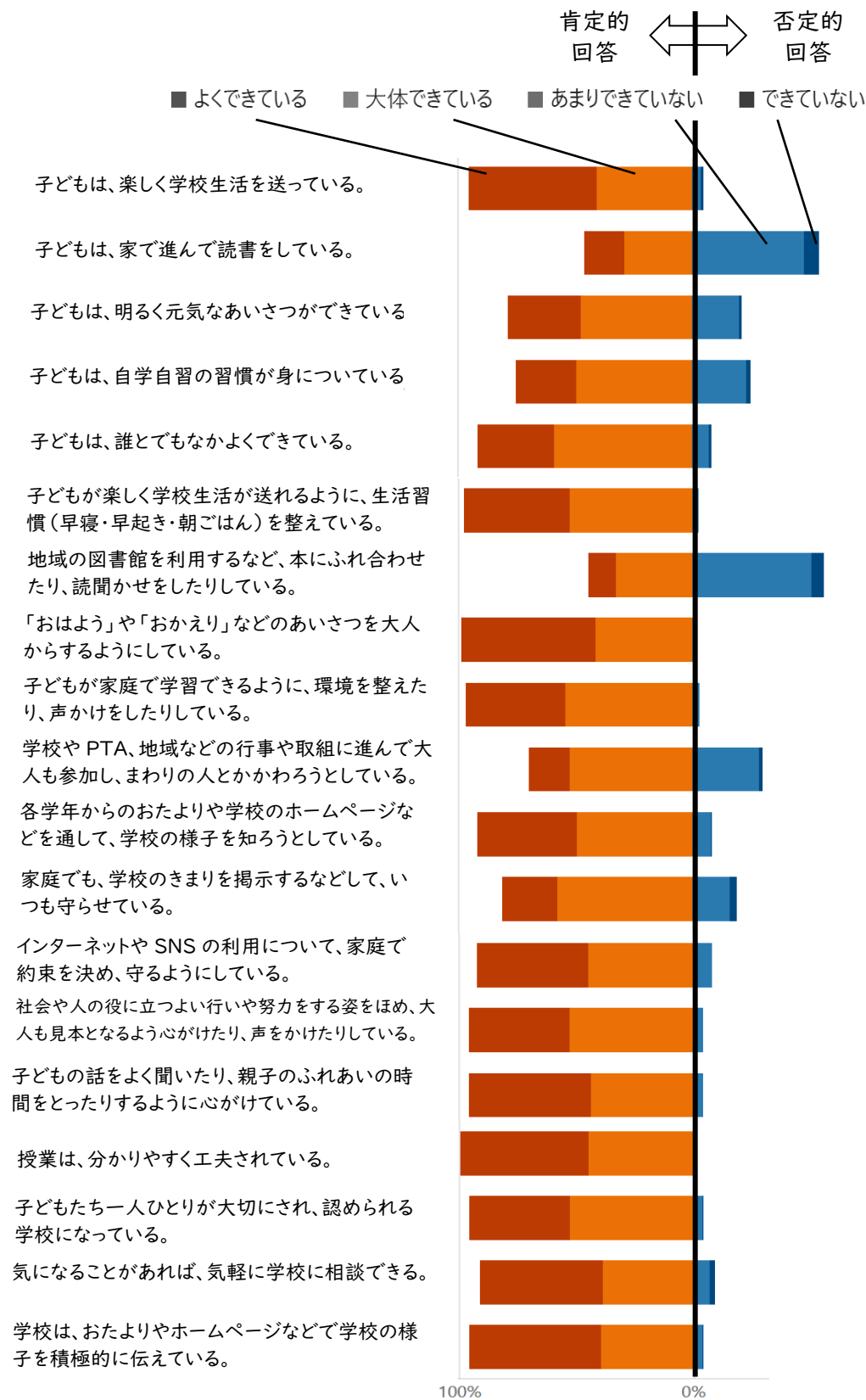


### 考察

#### 【児童へのアンケートについて】

- 「授業はよくわかる」「人の話をしっかりと聞き、学習に取り組んでいる」「自分のめあてに向かって努力している」の項目について、9割以上が肯定的な回答でした。子どもたちが、めあてをもち、すすんで学習に臨んでいる様子が見えてきます。一方で、「授業中、自分の思いや考えをすすんで発表している」の項目について、やや否定的な回答が見られるのは本校の課題と言えます。それぞれのもつ思いや考えを交流することは、学びを深め、視野を広げていくことにつながり、結果として本校が教育目標として掲げる「夢や希望に向かう」ことにつながります。夢や目標を実現するためには、「今の自分を振り返り、次につなげていく」ことが大切ですので、これからも、思いや考えを交流し、協働的に学ぶ場づくりを学校全体で取り組んでいきたいと思えます。
- 「家で、学校であったことを話していますか」という項目について、やや否定的な回答が多く見受けられました。9割以上の子どもたちが「学校は楽しい」「学級の友達や仲間と仲良くできている」と回答していますが、学習や人間関係の悩みなど、一人一人さまざまな困りがあることも考えられます。学校の取組は、ホームページなどで発信していますが、子どもたちと話題を共有していただく中で、各学年の取組の様子をより詳しく知る機会にもなるかと思えます。ぜひご家庭でも、学校の様子を聞いたり、家庭学習の様子を見たりしていただくとありがたいです。

# 学校評価集計結果【保護者へのアンケート】 令和5年7月 オンライン回答 (Microsoft Forms) 形式にて実施



保護者の皆様からのアンケートの回答率は約60%でした。後期のアンケートは12月を予定しています。保護者の皆様からのご意見を、教育活動に反映させていただくため、アンケートへのご協力をお願いします。



## 考察 【保護者へのアンケートについて】

- 「子どもたち一人一人が大切にされ、認められる学校になっている」「子どもは、楽しく学校生活を送っている」の項目において、95%以上が肯定的な回答でした。子どもたちが安心して学校生活を送れている様子を見ていただいていると感じます。今後も、子どもたちの心身の変化に気を配り、保護者や地域の皆様とともに子どもたちの成長を支えていきたいと思ひます。また、学校での取組を広く発信し、学校の様子を見守ってもらえるようにしていきたいと思ひます。
- 「学校や PTA、地域などの行事や取組に進んで大人も参加し、まわりの人とかかわろうとしている」という項目について、「重要度」と「実現度」にやや差があることが見て取れます。重要であると感じられているものの、実現には至っていないというご家庭も多いようです。地域行事も少しずつコロナ禍前の姿に戻ってきており、地域の方々と触れ合える場が増えてきています。子どもは学校や家庭だけでなく、地域社会の中でも育っていきます。お忙しい中かとは思ひますが、ぜひ様々な行事等にご参加いただき、まわりの人とかかわりをもつようにして下さい。
- 子どもたちの「自学自習の習慣が身についているか」という点について、これまでよりも実現できていると感じられているご家庭が増えています。また、「子どもが家庭で学習できるよう、環境を整えたり、声かけをしたりしている」という項目も高い肯定的回答となっており、子どもたちの自学自習の力をつけるため、ご家庭でも子どもたちの様子を見ていただいていることがわかります。これから生きる子どもたちにとって、学校で学んだことがすべてではありません。課題を見つけたときに、自分で調べ、考え、整理したうえでより良い答えを見出していく力が必要になります。家庭学習での「あすいき学習」、様々な学校生活の中で「自学自習」の意義を捉えたり、学んだ知識や身に付けた技能を活用したりする時間を作っていく中で、「めあてをもつ」「見通しをもって活動を進める」「活動をふりかえり、めあてに向かって学びを調整する」などの活動を取り入れ、自学自習の習慣を身に付けていけるよう、取組を進めていきたいと思ひます。

## 学校関係者による評価

- 下校の様子を見ていると、楽しそうに帰っている子もいれば、そうでない子もいる。アンケートの結果で、「学校が楽しい」と回答する子がとても多いが、「一人一人を大切に」という視点で、すべての子どもが毎日楽しく過ごせる学校であってほしいと願っている。
- コロナ禍からの制約が少しずつ緩和されていく中ではあるが、保護者や地域の大人が、どの程度行事に参加してよいか迷っている印象がある。子どもたちは参加するが、大人の参加が少ない、ということもある。働いている家庭も多く、忙しい中ではあるが、大人が子どもたちと一緒に行事に参加し、学校だけではなく、地域全体で子どもたちを育てていくことも大切だと思う。
- 放課後の過ごし方について、今年の夏は暑い日が多く、公園などで遊ぶのも厳しいこともあった。友達とどのようにすごしているのか、保護者同士で情報交換をする場が少ない。家庭教育学級など、保護者同士が悩みや相談をし合える場をもっと作っていただければいいのではないかと思ひます。